

なんじゃもんじゃ

第 19 号

平成 22 年 10 月 1 日
発行責任者：管理者 細江 雅彦
編集：市立恵那病院広報委員会
<http://www.enahp.enat.jp/>
E-mail:enahosp@enat.org

肺の生活習慣病

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) について

11月17日(水)は世界COPDデーです どんな病気?



内科医師
近藤芳正

慢性閉塞性肺疾患 (COPD) とは、階段を昇ったりすると息切れを感じたり、風邪を引いていないのに咳・痰がでる等の症状の病気です。従来、肺気腫・慢性気管支炎と呼ばれていた病気をとりまとめた病名です。2001年WHO (世界保健機構) 調査では、高所得国では死因の第5位を占め、日本では死因 (1999年) の10位を占めています。2000年の日本人調査では40歳以上の男女の8.6%がCOPDの疑いがあるといわれており、年々その患者数は増加してきています。増加している病気にもかかわらず、この病気の関心が低く、病気の診断発見が遅く、発見された時には重症になっていることが多いです。

原因

COPDの原因としてはタバコが引き金になっています。患者の90%以上は喫煙者です。「タバコ病」「肺の生活習慣病」とも呼ばれるゆえんです。そのほかの原因として大気汚染、塵肺、化学物質の吸入も関係しています。

検査

胸部レントゲン検査ではCOPDの患者さんは肺野の透過性の亢進と言って肺が黒く写ってきます。胸部CT写真も同様に、やはり肺が黒く写ってきます。

肺機能検査でCOPDの人は1秒量という検査値が低下します。1秒率 (1秒量/努力肺活量) が70%以下の場合は閉塞性換気障害があると診断し、COPDの可能性が高いです。

「基本理念」 私たちは、地域住民のために、医療倫理を守り、質の高い、信頼される、思いやりあふれる医療を展開いたします。

「基本方針」
一、患者様の権利を尊重し、患者様中心のチーム医療を展開いたします。
二、質の高い医療を提供できるように研鑽に努め地域包括医療に貢献いたします。
三、地域住民に安心され、永く親しまれ、信頼される病院を目指します。

治療

1. 禁煙 タバコを吸っている人は何よりも禁煙する事が大切です。一人で禁煙するのもなかなか難しいものです。禁煙外来を利用し、禁煙治療をする方法もあります。(本院禁煙外来 第1: 3金曜日午後2時から完全予約制)
2. 薬物治療 気管支拡張剤の内服、吸入、痰をきる薬、吸入ステロイド薬などが息切れ、咳、痰の症状を軽くします。
3. 酸素療法 COPDが進行し、血液中の酸素が低い人には、酸素の吸入治療があります。自宅に酸素の発生器械を設置し自宅で酸素を吸入します。
4. 人工呼吸治療 さらに病気が進みますと、鼻にマスクをつけ人工呼吸治療を行います。

病気を悪化させないようにするために

1. 予防接種をして、インフルエンザ、肺炎にかからないようにします。
2. インフルエンザ予防注射 (毎年注射が必要です。65歳以上の人は公費負担が利用できます。)
3. 肺炎球菌予防注射 (健康保険は利用できないため全額自費になります)
4. 呼吸リハビリテーション
腹式呼吸を習得し、効率のよい呼吸、息苦しくなった時の呼吸の仕方を身につけていただきます。
5. 食事療法
COPDの人は体重が減少している人が多いです。COPDによる栄養障害によるためです。十分な栄養補給が必要です。

終わりに

こんな人はCOPDかも?

1. 40歳以上でタバコを吸っている、または吸っていた
2. 階段などを昇ると息切れがある
3. しつこく咳・痰が出る

この3つがすべて当てはまる人はCOPDの疑いがあります。当てはまる人は内科の診察を受けて下さい。早期発見早期治療が大切です。



がん性疼痛看護 認定看護師の紹介

がん性疼痛看護認定看護師 松永智志



「認定看護師」と言う言葉をご存じでしょうか。認定看護師とは、特定の看護分野における6カ月間の専門的な教育を修了した看護師のことをいいます。私は今年の6月にがん性疼痛看護認定看護師の資格を取得しました。認定看護師には特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践を行い、看護ケアの質の向上を図るという役割があります。

がん患者さまやご家族さまは様々な痛みを抱えておられます。身体の痛みだけでなく、不安や恐怖など心の痛み、仕事や経済的な問題など社会的な痛み、人生への問いなど霊的な痛みをもつておられます。がん性疼痛看護認定看護師は、他職種と協力しながら患者さまやご家族さまの「痛み」を総合的にとらえ、それらを緩和していきけるよう看護ケアを計画し実践していきます。がんの「痛み」を緩和することは、患者さまが病気と向き合い、その人らしく生活していくための土俵づくりとして重要であると考えています。

現在、がん性疼痛に対する適切な治療によって8割〜9割の痛みが軽減できると言われています。今後も他の医療スタッフと協力しながら、患者さまやご家族さまの生活の質の向上に貢献していきたいと考えています。



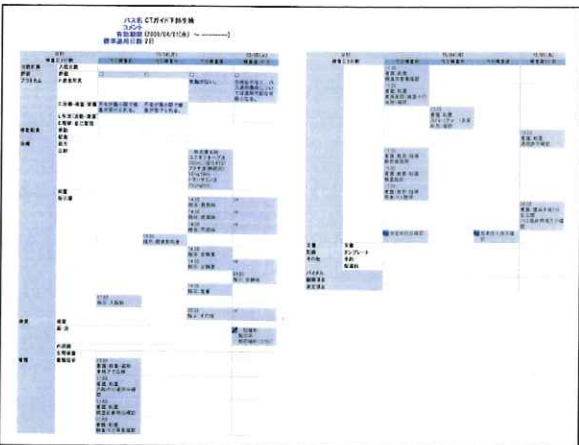
クリニカルパス委員会の紹介

クリニカルパスは、入院中の検査や治療の予定と、食事や入浴などの生活の流れを患者さまにわかりやすく説明するためのスケジュール表です。患者さまにとって入院生活の不安を少しでも軽くするために、また、医療スタッフと患者さまの意思疎通をスムーズにすることを目的に作成された表です。

当院のクリニカルパス委員会は、医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・システム管理・放射線技師など多職種のメンバーが集まりパス作成を行っています。現在は、36個のパスが使用されています。患者さま・ご家族さまへの説明用紙も作成し、パス開始時に渡すようにしています。今後も医療スタッフがチーム一丸となり計画的に標準的な質の高い医療が提供できるように多くのパス作成を行っていききたいと考えています。

委員長 太田 博彰

Table with 5 columns: 目的(目標), 実施内容, 実施時期, 実施場所, 実施者. It details the goals and implementation of clinical pathways.



機能評価

平成22年3月18日(木)～20日(土)の3日間にかけて、日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審しました。これは、第三者の立場から見て病院の診療管理体制について審査を実施するもので、見事最新版のバージョン6.0で認定をいただくことが出来ました。

審査の主眼と言うのは、病院内のルー ル化が適切に実行のある内容になっ ているか、患者さまの目線に立った診療がなされているか、医療安全・感染対策等標準的な質確保やチーム医療・患者参加型の体制が実現出来ているか等、全167項目(399審査事項)から評価をいただいたものです。市立恵那病院としては初めてのチャレンジであり、職員の努力があつたればこそその成果だと思ひます。とは言えこれも一つの通過点に過ぎません。表紙に当院の基本理念を謳つてありますが、さらに崇高なものに昇華していくよう今後とも努力して参ります。

管理者 細江 雅彦



一日看護体験

平成22年8月19日(木) 高校生を対象に「一日看護体験」を実施し、将来看護師等の医療職を目指すという14名の高校生の参加がありました。一生懸命看護体験をしてくれた参加者の声を紹介します。



仕事内容の大変さややりがいを感 じました。

今まで以上に看護職について関心が高まりました。

看護の道を進めるよう しっかり勉強していきたい。

私は患者さんの体 だけでなく心のケアも できる看護師になり たいと思いました。

看護師や現場の 方々はとても輝 いていて生き生 きと働いてみえ ました。皆仕事に誇りを もってやっている んだなと感じ ました。

皆を笑顔にできる 看護師になろうと強い 決意をいただくことが できました。

患者さんに 「ありがとう」 と言ってもら えたことが すごく嬉し かったです。



看護師になってからの勉強も 大変だけどすごくいいなと 思いました。

将来、この夢を実現し、一緒に看護の仕事ができることを大いに期待しています。

副病院長兼看護部長 大野 たみ子



看護師を目指す皆さんへ 奨学金制度のご案内
対象・・・看護大学・看護短期大学・看護養成施設に在学の学生
金額・・・月額10万円
備考・・・奨学金受給期間と同じ期間を当院にて勤務することにより、返済は全額免除となります。

お問い合わせ先 市立恵那病院 担当 渡部・吉村
TEL 0573-2612121 / FAX 0573-2615279